

武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書（案）

[令和6年度版] の概要

～ 令和5年度の主な取り組み ～

令和6年10月
兵庫県

目次

武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書(案)の概要 ~令和5年度の主な取り組み~

1. 進行管理方法（PDCA）の概要
2. 進行管理報告書一覧表
3. 各対策の概要図
河川対策
流域対策
減災対策
4. 令和5年度取り組み状況

1. 進行管理方法（PDCA）の概要

1-1. 進行管理に関する河川整備計画の記述

<武庫川水系河川整備計画(平成23年8月)P.80 抜粋>

本計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理、フォローアップ委員会(懇話会)の設置を行うとともに、地域住民等との情報の共有化を図る。

(1) 河川整備計画の進行管理

PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理を図る仕組みを導入することとし、どのような進行管理の仕組みが可能か検討を行う。そのうえで、下記のフォローアップ委員会(懇話会)の意見を聴き、具体化を図る。

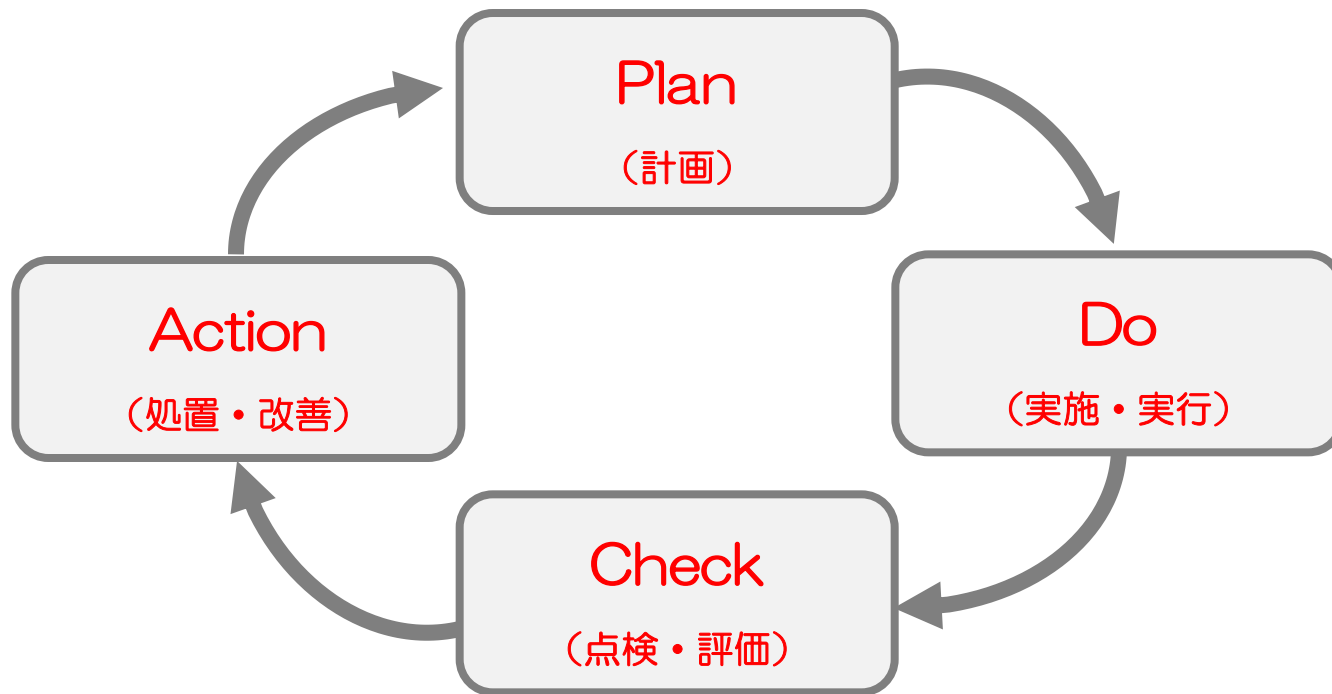
(2) フォローアップ委員会(懇話会)の設置

新たに、学識経験者と地域住民で構成するフォローアップ委員会(懇話会)を設け、施策や事業の実施状況等を、定期的に委員会(懇話会)に報告し意見を聴く。

また、PDCAサイクルによる進行管理の仕組みが具体化した段階で、施策や事業の実施状況の点検・評価を行い、それをフォローアップ委員会(懇話会)に報告することで説明責任を果たすとともに、委員会(懇話会)から意見を聴いて整備計画の次なる進行と改善につなげていく。

1-2. PDCAサイクルとは

PDCAサイクルとは、計画(Plan)→実施・実行(Do)→点検・評価(Check)→処置・改善(Action)を繰り返しながら、計画の継続的な改善を図る進行管理の手法。



1-3. 武庫川水系河川整備計画の着実な推進を図るしくみ

① 計画期間20年(平成23～令和12年度)を4分割して5年を1サイクルとし、5年度ごとに期別計画を定め、これを目標として取り組みを推進する。 … (P) Plan 、 (D) Do

② 定期的に、委員会(懇話会)の意見を聴いて、期別目標の達成に向けての微修正を加えながら各年度の取り組みを行う。 … (C) Check

・懇話会は、5年の1サイクルのうち「中間年(2～4年目)」と「5年目」の開催

③ 5年に1度検証を行い、その結果を次の期別計画に反映する。 … (A) Action

河川整備計画期間20年間における年度毎の取り組み

河川整備計画期間20年 (H23～R12)																			
第1期 (5年)					第2期 (5年)					第3期 (5年)					第4期 (5年)				
H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
懇話会 設置	懇話会	懇話会	懇話会	懇話会	懇話会		懇話会		懇話会				懇話会	懇話会			懇話会		懇話会
(P)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (A) (P)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C) (P)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C) (P)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (C)	(D) (A)

1-4. 進行管理（P D C A）の具体的進め方

河川整備計画より抽出した実施目標毎（全21項目）に、**進行管理点検票を作成し進行管理**

進行管理点検票の構成

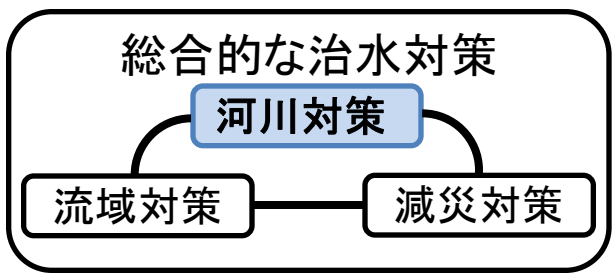
河川整備計画の事項・項目	実施目標および実施施策の具体的内容を記入					実施目標					
施策の概要											
1. 期別計画（P）					2. 実績（D）						
河川整備計画の事項・項目	取組方針	点検指標	期別計画（P）				実績（D）				
			第1期 (H23~H27)	第2期 (H28~R2)	第3期 (R3~R7)	第4期 (R8~R12)	R3	R4	R5	R6	R7
1. 期別計画(P) 第1期～第4期の計画を期別に記入					2. 実績(D) 毎年度の実績を記入						
3. 点検・評価（C）（第3期 [R3~R7]）											
点検・評価（C） R3			点検・評価（C） R4			点検・評価（C） R5					
点検・評価（C） R6			点検・評価（C） R7			3. 点検・評価(C) 毎年度の点検結果を記入					
4. 改善（A）（第4期 [R8~R12] に向けて）											
4. 改善(A) 5年ごとの改善方策を記入			⇒			次期(5年)の 期別計画への反映					

2. 進行管理報告書一覧表

管理番号	大項目 (対策名)	内容
1	河川対策	下流部築堤区間
2		下流部掘込区間
3		中流部
4		上流部及び支川
5		堤防強化（支川）
6		堤防強化（下流部築堤区間）
7		遊水地、青野ダム活用
8		洪水調節施設の継続検討 (千苅ダム治水活用検討)
9	流域対策	流域対策
10	減災対策	減災対策
11	正常流量の確保	

管理番号	大項目 (対策名)	内容
12	緊急時の水利用	
13	健全な水循環の確保	
14	動植物の生活環境 の保全・再生	2原則の適用
15		天然アユが遡上する川づくり
16	良好な景観の保全・創出	
17	人と河川の豊かなふれあいの確保	
18	水質向上	
19	維持管理	
20	流域連携	
21	モニタリング	

3-1. 各対策の概要図 河川対策



①下流部築堤区間の整備
・南武橋アプローチ ・低水護岸工事

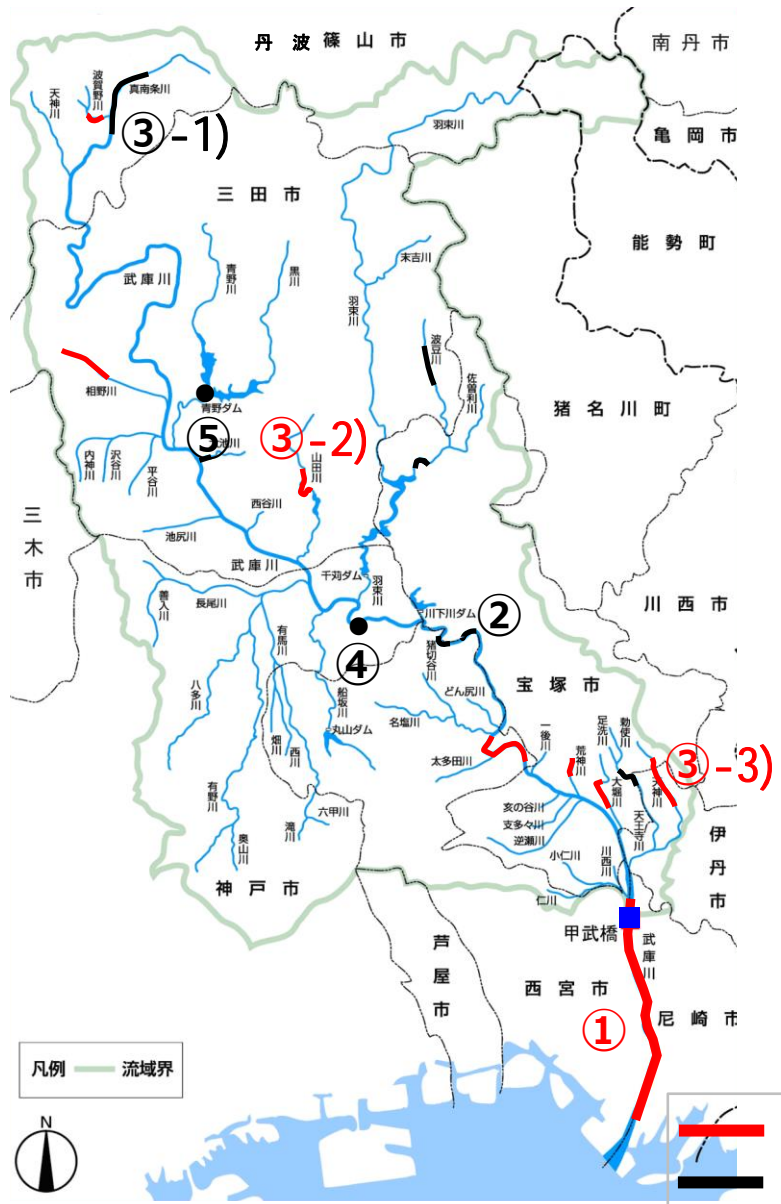
②中流部(武田尾地区)
・築堤、護岸等の整備

住宅地区

温泉地区

④遊水地の整備

⑤青野ダム



③上流部及び支川の整備

- 1) 武庫川上流(丹波篠山市)
・河床掘削(R3完了)
- 2) 山田川(三田市)
・橋梁架設完了
- 3) 天神川(宝塚市)
・堤防強化

図. 二級河川武庫川流域図

3-2. 各対策の概要図 流域対策

総合的な治水対策

河川対策

流域対策

減災対策

①校庭貯留整備

- ・【整備完了】宝塚東高校(H24)、阪神昆陽高校(H24)
三田西陵高校(H25)、西宮甲山高校(H26)
北摂三田高校(H26)、神戸北高校(H28)
有馬高校(H28)、宝塚北高校(R1)
名塩小学校(R1)、三田祥雲館高校(R1)
北六甲台小学校(R2)、山口中学校(R3)
東山台小学校(R4)、常陽中学校(R4)、
生瀬小学校(R5)

②公園等

- ・【整備完了】三田カルチャータウン太陽光発電所(H26)
甲山森林公園(H23)、西昆陽2丁目公園(R3)
宮の北公園(R5)

③ため池・利水ダム等

- ・【整備完了】有野大池(H29)、平井の池(H30)、三田池(H28)
名塩ダム(R3)、鎌ヶ谷大池(R2)
深谷池(R5)、倉谷池(R5)
- ・【事業中】鎌ヶ谷調整池、八王寺池

④森林整備・保全

- ・人工林間伐、表土侵食防止、
混交林整備
(神戸市、宝塚市、三田市、丹波篠山市)



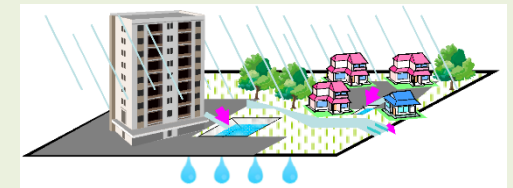
⑤水田貯留の推進

宝塚市大原野でセキ板を配布



⑥調整池

- ・県は重要調整池の設置に関する技術基準を策定(平成25年)
- ・以下の3市は県よりも小さな開発規模でも調整池設置指導を実施(神戸市、西宮市、伊丹市)



⑦雨水貯留タンク助成

- ・尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市
三田市で実施



⑧その他雨水貯留・浸透施設の設置

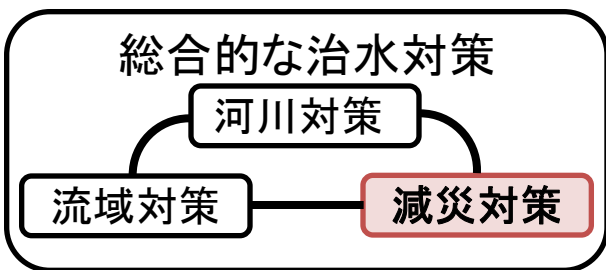
- ・透水性舗装を施工(県)
- ・宅内浸透桝、道路側溝等の浸透化を市で施工(宝塚市、伊丹市、西宮市)



図. 二級河川武庫川流域図

- 貯留施設整備箇所(R5年度整備完了)
- 貯留施設整備箇所(過年度整備完了)
- ▲ 貯留施設整備箇所(設計着手)
- 雨水貯留タンク助成市

3-3. 各対策の概要図 減災対策



①知る(水害リスクに対する認識の向上)

- ・手作りハザードマップの作成等による水害リスクを知る機会の提供
- ・CGハザードマップの継続公開
- ・出前講座、職員研修による防災の担い手となる人材育成
- ・手作りハザードマップの作成 (7地区、流域市計)



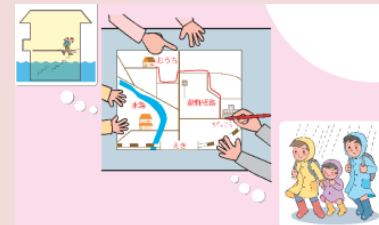
②守る(情報提供体制の充実、水防体制の強化)

- ・避難情報を伝達するための河川ライブカメラの継続配信(19箇所)(●印)
- ・水位及び氾濫予測やサイレン、回転灯による河川情報の伝達
- ・土のう積訓練、人命救助訓練の実施



③逃げる(的確な避難のための啓発)

- 自助の取組の推進
 - ・ひょうご防災ネットの加入促進
- 共助の取組の推進
 - ・要援護者の情報共有、避難支援組織の立上げ
- 公助の取組の推進
 - ・避難経路、避難所の屋外表示
 - ・隣接市の避難所の相互活用



④備える(水害に備えるまちづくり、水害からの復旧の備え)

- ・建物耐水機能に係る指針策定による重要施設浸水対策の推進
- ・水害に備えるためのフェニックス共済等への加入促進



● 河川ライブカメラ

図. 二級河川武庫川流域図

実施目標

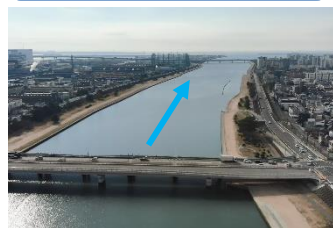
戦後最大洪水を安全に流下させる

Plan 【第3期計画】

- 下流部築堤区間
(河口～JR東海道線橋梁下流)
- ・河床掘削：工事着手
- ・低水路拡幅：工事完了
- ・南武橋：工事完了
- ・潮止堰撤去：工事着手
- ・塩水化対策：工事完了

Do 【令和5年度実績】

河床掘削



59,800m³掘削

床止工の撤去または改築

1号床止工



2号床止工



3号床止工

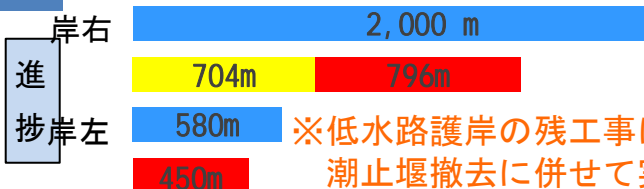


南武橋



供用開始

Check <低水路拡幅>



※低水路護岸の残工事は潮止堰撤去に併せて実施予定

- 第1期～第3期計画延長 (H23～R7)
- 第1期完了延長 (H23～H27)
- 第2期完了延長 (H28～R2)
- 第3期完了延長 (R3～R7)

- ・河口部から河床掘削を継続するとともに、河床掘削に先立ち、護岸工事を推進
- ・南武橋供用開始
- ・全体の工事工程の進捗を図るため、工事期間を要する床止工から改築工事に着手
- ・沿線住民や河川敷利用者への工事内容の周知に努め、今後も円滑な事業推進を図る



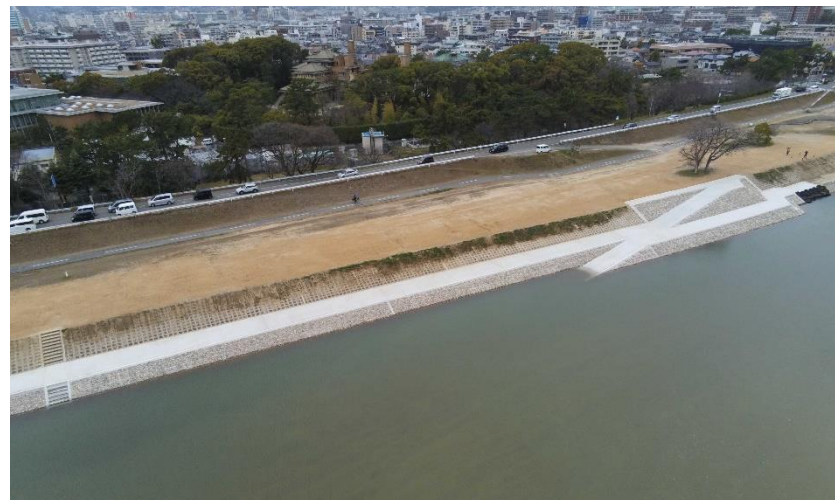
実施目標

戦後最大洪水を安全に流下させる

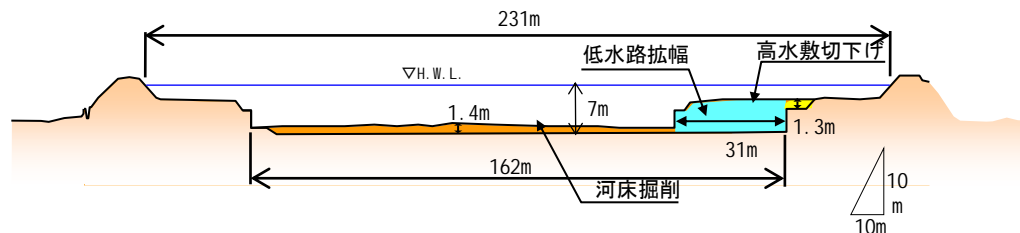
Do (参考) 【R5年度末の状況】



写真① 完成箇所 (戸崎地区)



標準断面図(国道43号橋梁下流 2.3K付近)



- ・ 第3期計画の低水路拡幅施工箇所は、横断構造物付近を残し、施行が概ね完了している
- ・ 整備計画の早期完了を目指し、第3期計画区間外も進捗させている

実施目標

戦後最大洪水を安全に流下させる

Plan 【第3期計画】

○下流部掘込区間

(仁川合流点～生瀬大橋)

・護岸整備：工事着手

(生瀬大橋～名塩川合流点)

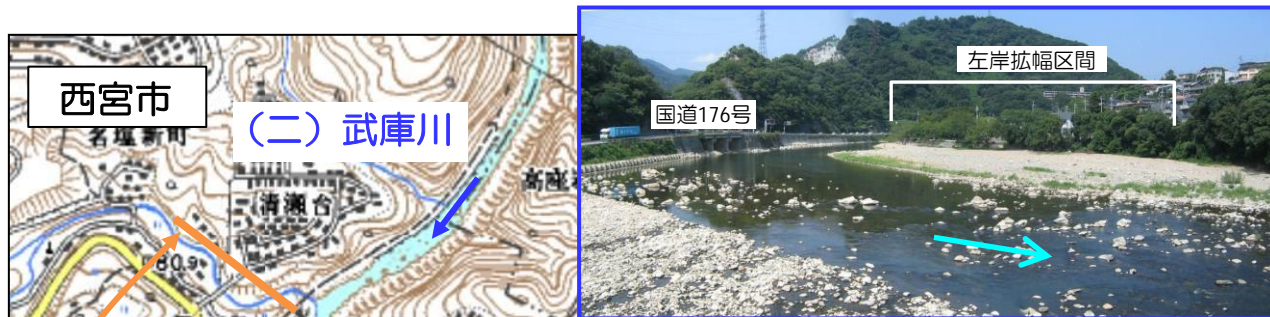
・河床掘削：工事継続

・左岸拡幅：工事継続

・西宝橋架替：仮橋共用開始、現橋下部工撤去

Do 【令和5年度実績】

- ・左岸拡幅区間は物件調査及び用地補償交渉を継続（14軒中8軒移転完了）
- ・西宝橋仮橋供用開始（R4.9）、現橋下部工撤去



Check

- ・道路管理者との協議を継続し、円滑な事業推進を図る

実施目標

戦後最大洪水を安全に流下させる

Plan 【第3期計画】

○中流部
(名塩川合流点
～羽束川合流点)

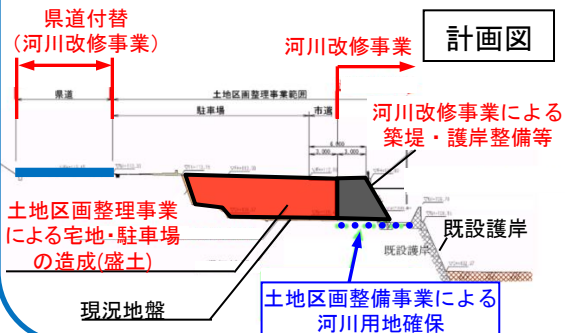
第2期で完了



Do 【平成30年度実績】

住宅地区施工状況

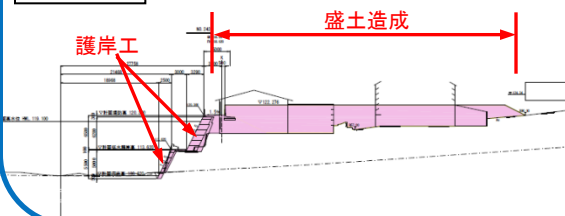
・区画整理地基盤整備(盛土) [完了]



温泉地区施工状況

・護岸整備 L=140m [完了]

計画図



Check

- ・<住宅地区> 平成29年度完了
- ・<温泉地区> 平成30年度完了

実施目標 各河川の目標流量を安全に流下させる

Plan 【第3期計画】

- 上流部（羽束川合流点～本川上流端）及び支川
- ・河道掘削、護岸工、橋梁架替等



Do

【令和5年度実績】

大堀川（宝塚市）



相野川（三田市）

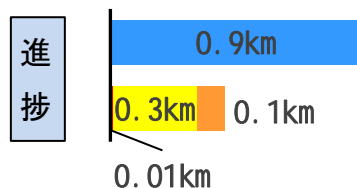


山田川（三田市）

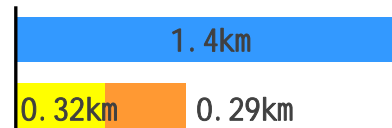


Check

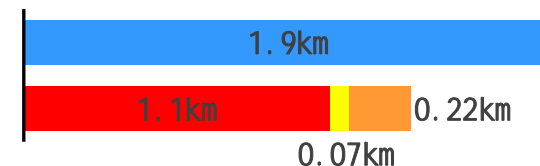
<大堀川>（宝塚市）



<相野川（三田市）>



<山田川（三田市）>



今後も計画的な事業推進を図る

- 第1期～第3期計画延長（H23～R7）
- 第1期完了延長（H23～H27）
- 第2期完了延長（H28～R2）
- 第3期完了延長（R3～R7）

実施目標

洪水による浸透や侵食に対して十分な安全性を確保する

Plan 【第3期計画】

○天神川（伊丹市，宝塚市）

・堤防強化：L=3.8km

[表のり面被覆工による浸透対策]

Do 【令和5年度実績（氾濫災害により一時中止）】

天神川の被災状況



復旧工事後の状況

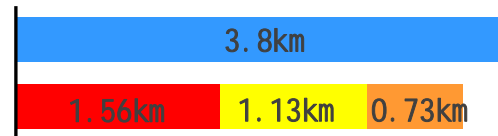


※天王寺川はH26年度で完了済み

Check

<天神川>

進捗



・今後も計画的な事業推進を図る

- 第1期～第3期計画延長（H23～R7）
- 第1期完了延長（H23～H27）
- 第2期完了延長（H28～R2）
- 第3期完了延長（R3～R7）

実施目標

洪水による浸透や侵食に対して十分な安全性を確保する

Plan 【第3期計画】

○下流部築堤区間の堤防強化
(南武橋～仁川合流点)

- ・浸透対策：L=7.3km [完了]
- ・侵食対策：L=6.2km [完了]
- ・超過洪水対策：L=0.7km [完了]

第3期で完了



Do 【令和4年度実績】

- ・超過洪水対策：工事完了 (L=650m)

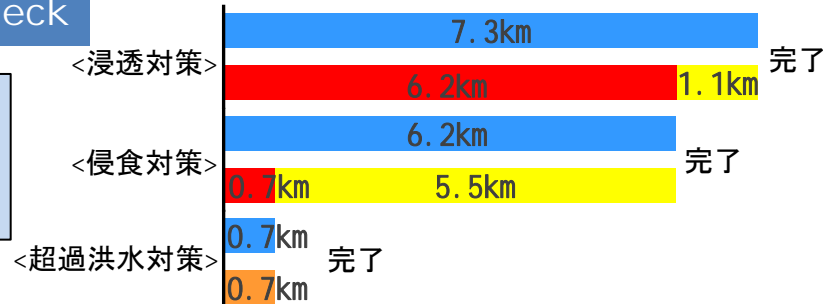
超過洪水に備えた
堤防強化

令和元年東日本台風による破堤被害を踏まえ、
堤内地側法尻補強を実施



Check

進捗



- 第1期～第3期計画延長 (H23～R7)
- 第1期完了延長 (H23～H27)
- 第2期完了延長 (H28～R2)
- 第3期完了延長 (R3～R7)

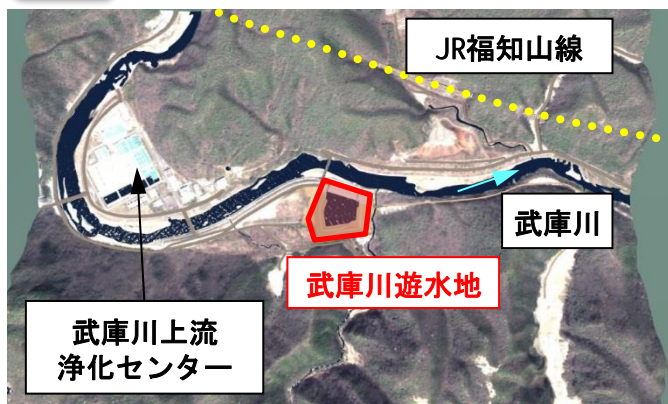
実施目標

遊水地の整備を進めることによりこれまで以上の洪水調節を行う

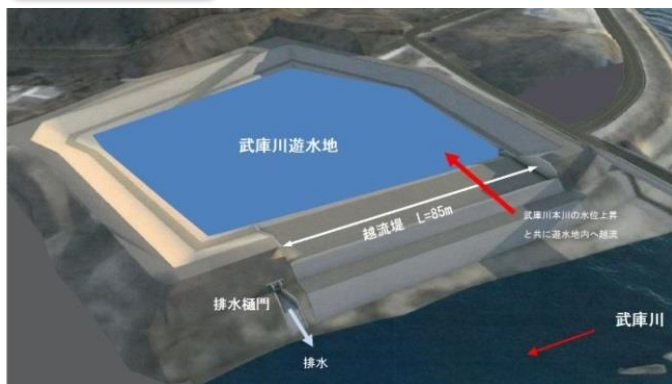
Plan 【第3期計画】

○武庫川遊水地：第2期で完了

位置図



完成イメージ図



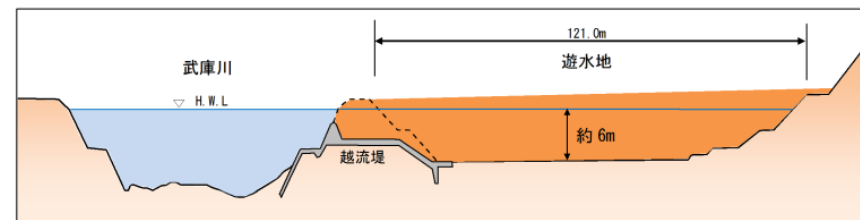
Do 【平成30年度実績】

工事完了

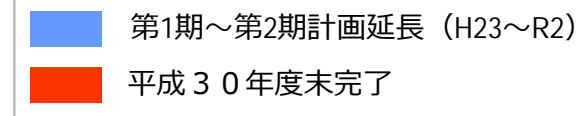
施工前



計画断面図



Check

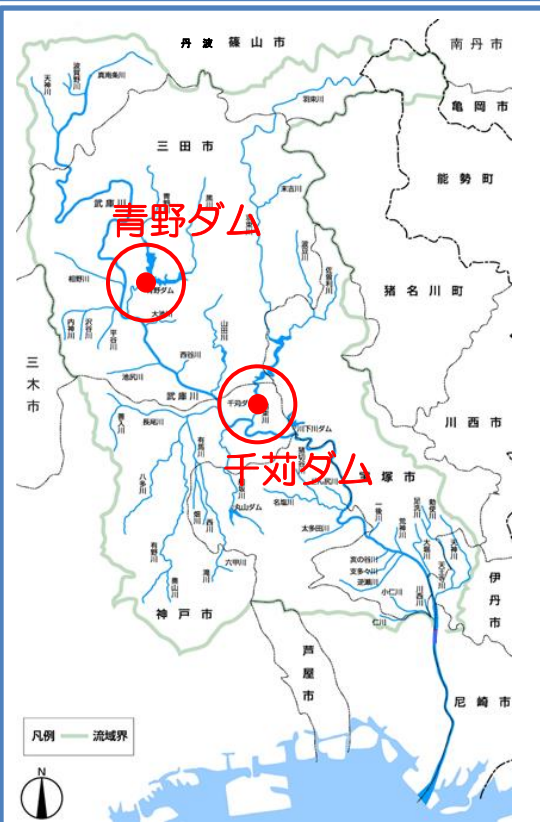


実施目標

- ・青野ダムの洪水調節容量を拡大させることによりこれまで以上の洪水調節を行う（管理番号7）
- ・さらなる安全度の向上に向けて、利水ダムの治水活用を検討する（管理番号8）

Plan 【第3期計画】

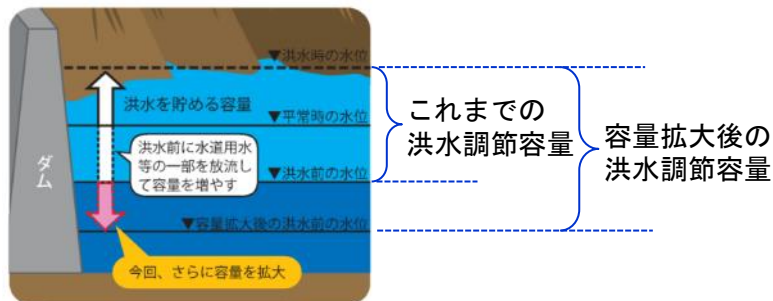
- 千苺ダム治水活用：治水活用の試行
- 青野ダムの活用：事前放流試行操作の継続



Do 【令和5年度実績】

青野ダムの活用

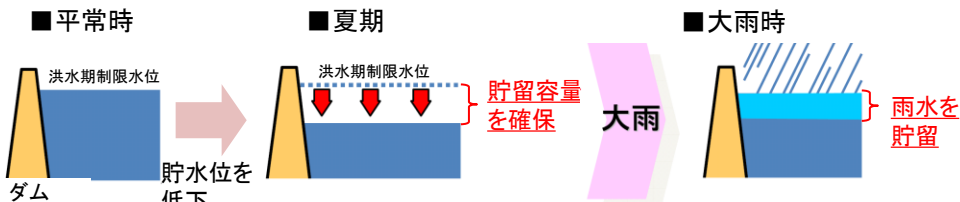
洪水調整容量拡大のイメージ



千苺ダムの活用

治水活用のための施設整備 7月から9月の3ヶ月間、洪水期制限水位から、さらに1.0m水位を低下させることで、貯留容量を確保

千苺ダム活用のイメージ



- ※ 貯水池内の水質に影響を及ぼさないよう時間をかけて徐々に水位を低下させる
- ※ 治水活用による水質影響や水量確保（バックアップ）のため三田西宮連絡管との連結工事完了

Check

〈青野ダム〉

基準雨量を変更した上で事前放流容量を20万 m^3 から40万 m^3 に拡大（R2.6～）
令和5年度に事前放流を1回実施

〈千苺ダム〉

7月～9月は、放流設備のゲートを開け、貯水位を下げる試行運用を継続



実施目標 学校、公園等を利用した貯留施設等を設置し、流出抑制を行う。

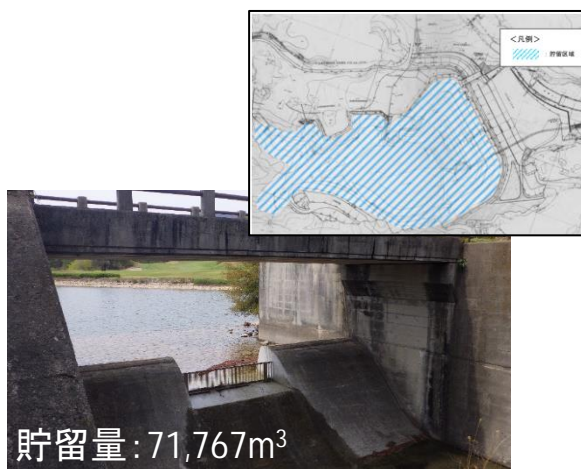
Plan 【第3期計画】

- 学校、公園、ため池等を利用した貯留施設等の整備
- ・目標貯留量：48.0万m³

Do 【令和5年度実績】

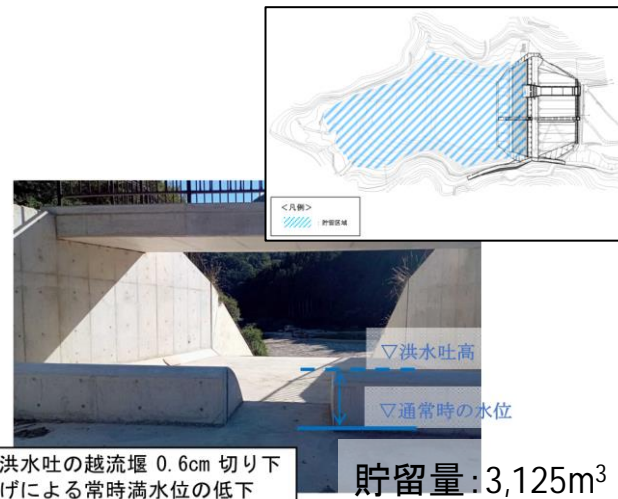
8.12万m³完成

深谷池（宝塚市）



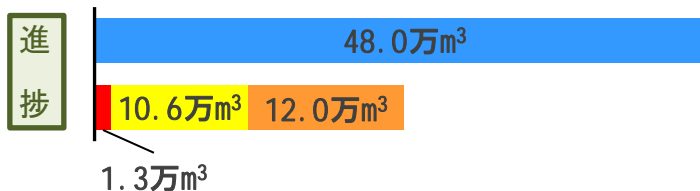
貯留量：71,767m³

倉谷池（丹波篠山市）



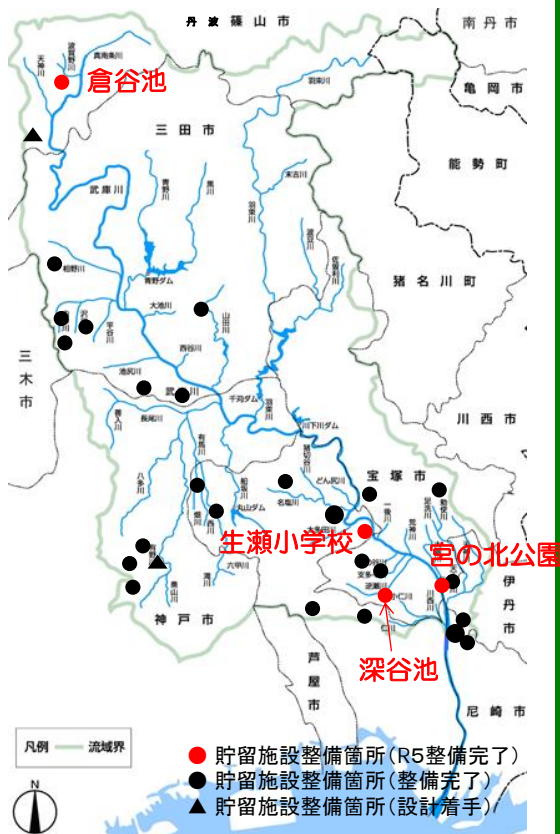
貯留量：3,125m³

Check



- 第1期～第3期計画貯留量 (H23～R7)
- 第1期実績貯留量 (H23～H27)
- 第2期実績貯留量 (H28～R2)
- 第3期実績貯留量 (R3～R7)

今後も貯留容量確保に向けた整備を推進



実施目標 流域市等と連携して取り組む、様々な流出抑制対策（森林）

Plan 【第3期計画】 ○森林保全と公益的機能向上

- ・人工林の間伐等（関係機関連携・住民連携）
- ・急傾斜地にある間伐対象人工林の表土侵食防止対策
- ・高齢人工林の広葉樹林への一部誘導（混交林整備）
- ・砂防・治山事業による流木・土砂災害防止対策（R5までに砂防事業3箇所着手、治山事業24箇所着手）

Do 【令和5年度実績】 人工林の間伐や表土侵食防止対策等を実施



間伐・作業道の開設



緊急防災林整備（斜面对策）

伐倒木を利用した土留め工の設置
【土砂流出防止効果】
土留工設置後の森林からの年間土砂流出量は $0.41\text{m}^3/\text{ha}$
⇒「健全な森林の目安となる $1\text{m}^3/\text{ha}$ 以下」に抑制

令和5年度整備実績

人工林間伐等	165ha
急傾斜地表土侵食防止対策	109ha
混交林整備	0ha
砂防事業	4箇所着手
治山事業	1箇所着手

Check

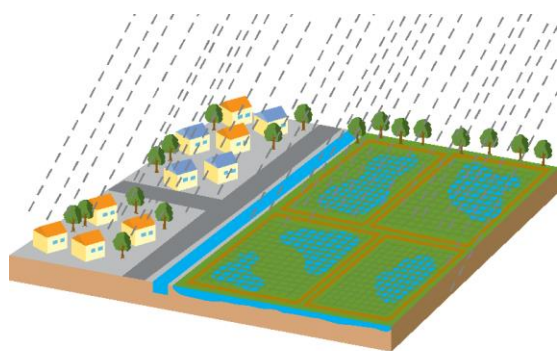
- ・森林が持つ水源かん養機能、土砂流出防止機能などの維持向上を推進
- ・砂防・治山事業の対策を推進

実施目標 流域市等と連携して取り組む、様々な流出抑制対策（水田）

Plan 【第3期計画】

- 水田での雨水貯留による流出抑制

水田貯留



Do 【令和5年度実績】

- 宝塚市大原野でセキ板(150枚)を配布

ため池と田んぼで洪水を防ぐ！雨水貯留大作戦
 ～ 農業の「多面的機能」の発揮による「総合治水」の推進 ～

雨水貯留のススメ！

- 大雨時に集落内の住居や農地が浸水し困っている！
- 下流の洪水被害軽減に貢献したい！
- 農村の多面的機能を都市部へPRしたい

兵庫県多面的機能発揮推進協議会
 兵庫県農政課環境部農地整備課・農村課演習
 兵庫県水産部 水産課

水田貯留「田んぼダム」の手引

田んぼの排水口（排水口）に切欠のある「田んぼダム用セキ板」を追加し、激しい雨の時に田んぼの排水を抑制することで、雨水を一次的に田んぼに「ためる」取組です。

Step1 取組田の選定

はじめに、雨水貯留に取り組むことについて、集落内での合意形成を図ったうえで、ほ場整備を実施した田んぼを中心に、雨水貯留に取り組む田んぼを選定します。

Step2 あぜの補強

雨水貯留では、大雨時に水位が最大で現行よりも10cm上がるため、あぜが壊れていると崩壊の危険があります。このため、セキ板を設置する前に水田を点検し、壊れているあぜについては、あぜ塗り機等によりあぜを補強します。
 (あぜの高さと幅は30cm以上を確保)

Step3 セキ板の準備・設置

【田んぼダム用セキ板】

- 下図のように切欠のあるセキ板を準備します。
- 材質は、木材やスレートなど一定の強度があるものが望ましいです。

※木材は水位上昇時に浮く場合があるため固定が必要

【設置方法】

既存のセキ板の上に「田んぼダム用セキ板」を設置します。普通の雨は切欠から排水され、激しい雨の時に水位が上昇し、セキ板から逆流して排水されます。

【側面図】

最大10cm
5-10cm

田んぼダム用セキ板
セキ板
排水口

【普通の雨】 **【激しい雨】**

切欠から排水
一時的に水位が上がりセキ板を乗り越し排水

水田貯留に係る広報チラシ(平成28年度作成)

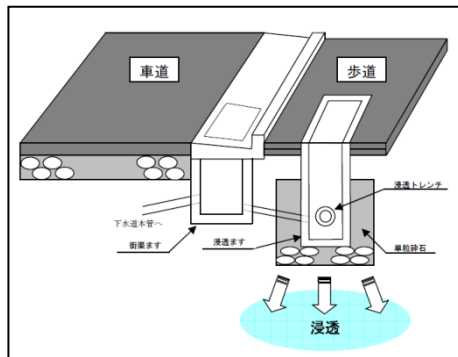
Check

今後も流出抑制対策の普及啓発を推進

実施目標 流域市等と連携して取り組む、様々な流出抑制対策（各戸貯留等）

Plan 【第3期計画】・その他の雨水貯留・浸透の取り組み

道路側溝等の浸透化



浸透側溝設置ガイドライン(改訂版)に基づき浸透化を推進



透水性舗装の整備（宝塚市）

各戸雨水貯留タンク

■西宮庁舎



PR用雨水貯留タンクを県庁舎に設置し、普及啓発



Do 【令和5年度実績】

- ・雨水貯留タンクの設置：助成基数87件 [累計1,821件]
- ・浸透施設整備：宅内浸透柵805箇所、宅内浸透トレンチL=1,981m、浸透側溝L=26m
- ・透水性舗装の整備：約5,000m²

Check

- ・各戸貯留タンク助成の推進
- ・浸透施設整備（道路側溝・宅内排水等）の推進

実施目標 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる。

Plan

【第3期計画】

○水害リスクに対する認識を向上させる ～知る～

具体的施策：①水害リスクを知る機会の提供 ②ツールの整備 ③防災の担い手の人材育成

Do

【令和5年度実績】

①水害リスクを知る機会の提供

①我がまちを歩く体験型講座の開催

まち歩き状況



三田市

講座開催状況



尼崎市

我がまちを歩く体験型講座等の開催
令和5年度実績：5回
(尼崎市、西宮市、三田市)

②ツールの整備

②住民主体による
手作りハザードマップ作成



三田市



宝塚市

手作りハザードマップの作成
令和5年実績：7地区（流域市計）

③防災の担い手の人材育成

③住民を対象とした防災研修



丹波篠山市



西宮市

出前講座の実施状況

防災リーダー講座・出前講座・
研修会等の開催
令和5年度実績：県：67回 流域市計：280回

Check 水害リスクに対する認識の向上に向け、県・市とも様々な取り組みにより知る機会を提供

実施目標 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる

Plan 【第3期計画】

○情報提供体制の充実と水防体制の強化を図る ～守る～

具体的施策：①避難情報の伝達 ②河川情報の伝達 ③水防体制の強化

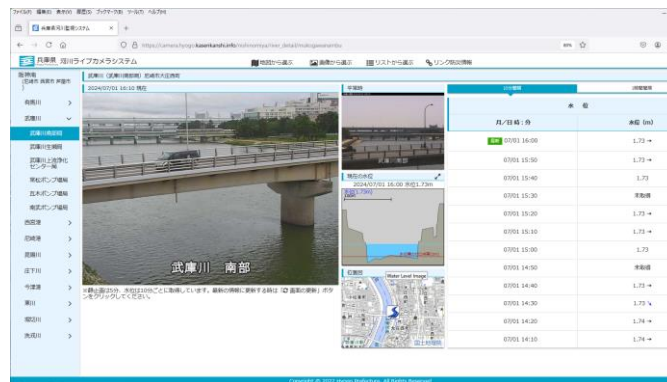
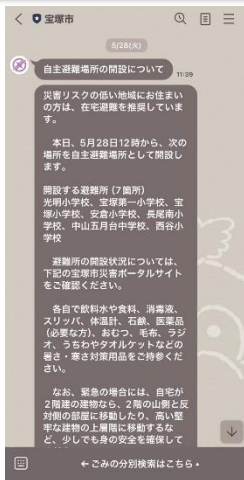
Do 【令和5年度実績】

①避難情報の伝達, ②河川情報の伝達

③水防体制の強化

防災情報提供体制の充実 (宝塚市・尼崎市)

河川ライブカメラによる 継続配信(県)



水防工法訓練 (尼崎市)



越水防止訓練
(宝塚市)



土のう作成設置訓練
(三田市)



オペレーション訓練
(西宮市)

- ・安心メールと市公式LINEの連携 (宝塚市)
- ・災害情報電話サービスの機能向上 (ASPサービス) (尼崎市)

「兵庫県河川監視システム」によりWeb上で閲覧可能
※武庫川水系の計19箇所継続配信

Check 県・市とも様々な取り組みにより、情報提供体制の充実と水防体制の強化を図る

実施目標

計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる

Plan

【第3期計画】

○的確に避難するための啓発を進める ～逃げる～

具体的施策：①自助の取組の推進 ②共助の取組の推進 ③公助の取組の推進

Do

【令和5年度実績】

①自助の取組の推進

「ひょうご防災ネット」加入促進

	新規登録件数	目標
令和4年度	47,641件	50,000 件/年
令和5年度	48,706件	

※アプリダウンロード数を計上

②共助の取組の推進

- 災害時要配慮者支援登録台帳等の整備、情報共有化の取り組みを継続実施（流域7市）
- 地域の高校と連携し、防災に関するイベントの開催等による意識啓発（尼崎市）
- 大学と地域住民が連携した避難啓発（尼崎市）
- 福祉避難所として介護老人保健施設を指定（尼崎市）
- 市域を越え避難場所の相互活用（宝塚市、伊丹市、尼崎市、丹波篠山市）

③公助の取組の推進

■避難所等を対象に表示板を設置



（神戸市、尼崎市、
西宮市、伊丹市、
宝塚市、三田市）

避難確保計画策定状況（流域7市総計）

	計画策定数	対象施設数	策定率
令和4年度	2,353	2,587	90.9%
令和5年度	3,020	3,880	77.8%

※高潮浸水想定区域図が水防法指定を受けたことから、対象施設数を見直し

（水防法指定日：令和4年6月）

Check

住民の的確な避難行動につながるよう、自助・共助・公助の取り組みを各主体の立場で推進

実施目標 計画規模を上回る洪水が発生した場合の洪水被害を軽減させる

Plan【第3期計画】

○水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備えを進める ～備える～

具体的施策：①水害に備えるまちづくりへの誘導 ②重要施設の浸水対策 ③共済制度への加入促進

Do【令和5年度実績】

①水害に備えるまちづくりの誘導

- ・水害リスク啓発の出前講座の開催56回（尼崎市）
- ・ハザードマップの配布（三田市）
- ・掲示板に海拔ステッカーを掲示（伊丹市）



②重要施設の浸水対策

- ・防災センターにおいて、自家発電機・燃料槽を屋上に設置（伊丹市）

③水害に備える共済制度の加入促進

フェニックス共済パンフレット



「フェニックス共済」（＝兵庫県住宅再建共済制度）は、住宅所有者に加入いただき、平常時から資金を寄せ合うことにより、災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修を支援する制度

フェニックス共済の加入状況（令和6年3月末時点）

	目標	全県	うち流域市
加入率(%)	15%	9.4%	7.0%
前年度比	—	-0.1%	±0.0%

Check 水害に備えるまちづくりのため、県・市とも様々な取組みを検討・実施

実施目標

- ・ 合理的な水利用を促進し、より豊かな流量の確保に努める (管理番号11)
- ・ 渇水時の被害の最小化など (管理番号12)

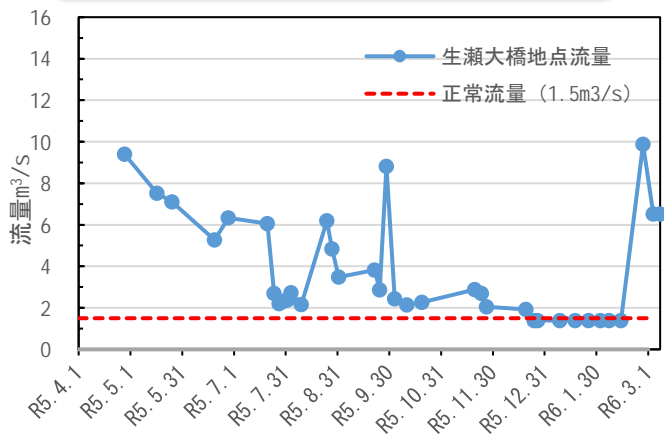
Plan 【第3期計画】 (管理番号11)

- 流水利用の適正化
 - ・ 取水実態の把握、農業用水の慣行水利権から許可水利権への切替など
- 適正な水利用の推進
 - ・ 節水の啓発・水利用の合理化など

Do 【令和5年度実績】

- ・ 農業用水の慣行水利権から許可水利権への切替実績なし

生瀬大橋地点の流量 (令和5年度)



※12月以降は瀬替え実施のため、水位計からの推計値

適切な維持管理



施設点検状況 (神戸市)

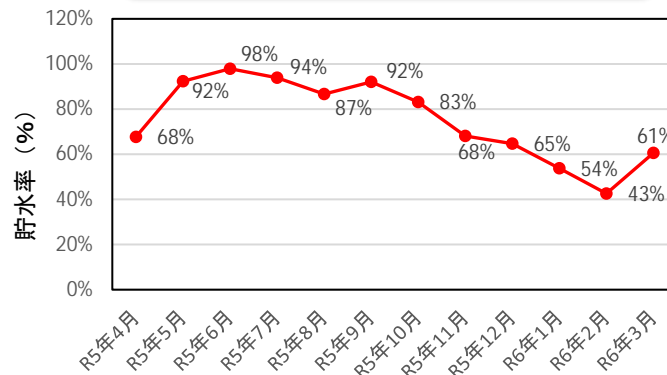
Plan 【第3期計画】 (管理番号12)

- 渇水調整および広域的水融通の円滑化
 - ・ 利水者間の相互調整の円滑化
 - ・ 広域的な水融通の円滑化
- 緊急時の河川水利用の円滑化

Do 【令和5年度実績】

- ・ 渇水や震災等による被害の発生なし

青野ダムの貯水率 (令和5年度)



三田西宮連絡管の整備完了 (R4) により
各市町の水道用水のバックアップが可能となった

Check 節水の普及啓発に努め、適切な水利用の推進に努める

Check

渇水、緊急時における河川水利用の円滑化に努める

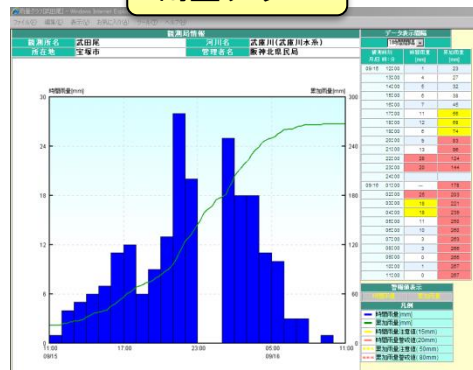
実施目標 森林、ため池の適正管理や貯留浸透施設の整備により、健全な水循環を確保する

- Plan** 【第3期計画】
- ・ 流域水循環把握に必要なデータの収集
 - ・ 森林、農地、ため池の整備や適正な管理（関係機関連携）
 - ・ 貯留浸透施設の整備（関係機関連携）

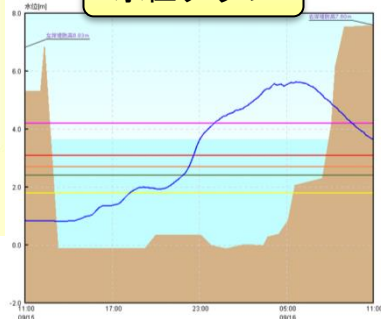
Do 【令和5年度実績】

流域水循環の把握

雨量グラフ



水位グラフ



雨量、水位、低水量、地下水位、
県管理ダム貯水位等のデータを蓄積

森林、農地、ため池の整備や適正な管理

間伐・作業道の開設

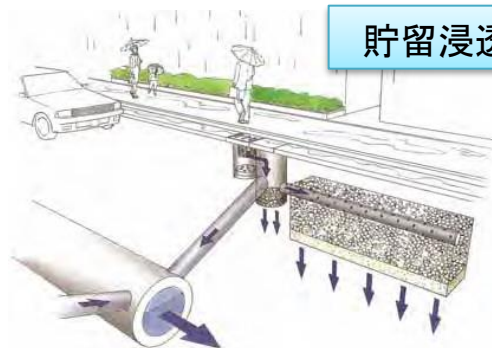


ため池の管理



ため池定期点検の実施

貯留浸透施設の整備



- ・ 宅内浸透柵805箇所
- ・ 宅内浸透トレンチL=1,981m
- ・ 浸透側溝L=26m
- ・ 透水性舗装
約5,000m²（神戸市除く）

（雨水浸透施設技術指針(案)調査・計画編より）

Check 今後も健全な水循環を目指して、流域水環境を把握に努める
地下水かん養および水循環に寄与する各事業を推進

実施目標

- ・多種多様な動植物が生息・生育できる豊かな自然環境の保全・再生を図る(管理番号14)
- ・アユなど魚類にとってより望ましい川づくりに取り組む(管理番号15)

Plan 【第3期計画】 (管理番号14)

動植物の生活環境の保全・再生

上流部

- ・移動性が低い生物の移植対策
- ・みお筋の再生
 - ・瀬・淵の再生
- ・ワンド・たまりの再生
 - ・オギ群集の再生
- ・代償措置としての瀬
 - ・淵やワンド等の創出

Do 【令和5年度実績】

武庫川上流
オグラコウホネは避難移植
していた株を元の生息地付
近へ移植完了

H20移植箇所



ツクシガヤ、オオサンショウ
ウオの調査・保護等を実施



Check

- ・オグラコウホネは避難移植していた株を元の生息地付近へ移植完了
- ・関係機関協力のもと、ツクシガヤ、オオサンショウウオの調査・保護等を実施

Plan 【第3期計画】 (管理番号15)

- ・魚道の改善
- ・みお筋、産卵場、稚魚期の生息場所の保全・再生

Do 【令和5年度実績】

1号床止の撤去、
2号床止工全断面魚道への
改築工事に着手



2号床止工



3号床止工全断面魚道(R4着手)は、
左岸側の改築が完了

3号床止工改築状況



3号床止工改築後



Check

- ・魚類にとってより望ましい川づくりに向け取組を実施
- ・床止工の改築工事(全断面魚道への改築等)を継続
- ・引き続き専門家の意見を聞き、対策を実施

実施目標

- ・ 自然景観を基調とした武庫川らしい景観を保全・創出する (管理番号16)
- ・ 人と河川の豊かなふれあい及び適正な河川利用の確保 (管理番号17)

Plan 【第3期計画】 (管理番号16)

- ・ 自然景観を基調とした武庫川らしい景観の保全・創出
- ・ 治水上支障がない範囲での緑化修景

Do 【令和5年度実績】 (管理番号16)

武庫川の河床掘削に伴う低水護岸の整備 (自然石護岸)



仁川合流点に堆積していた自然石を利用し、護岸を整備

Check

自然環境を基調とした
武庫川らしい景観の保全・創出

Plan 【第3期計画】 (管理番号17)

- ・ 地域住民の多様な要請への対応
- ・ 河川利用の利便性の確保と自然を生かした水辺の創出や施設整備

河川利用の利便性の確保



Do 【令和5年度実績】 (管理番号17)

親水施設(階段護岸)を整備



Check

河川利用の利便性向上のため、
階段護岸やスロープを設置

実施目標

- ・ 関係機関や地域住民と連携して、さらなる水の「質」の向上を図る（管理番号18）
- ・ 適切な河川維持管理に取り組む（管理番号19）

Plan 【第3期計画】・下水道事業に関するPR（管理番号18）
・水質状況の的確な把握
・水生植物による浄化機能の向上

Plan 【第3期計画】「兵庫県河川維持管理計画」に基づく視点検を行い、必要に応じて維持・修繕工事、樹木伐採等を実施する

Do 【令和5年度実績】（管理番号18）

水質汚濁防止法に基づき
水質・底質調査を継続



Check

- ・ 下水道事業のPRの実施
市に対して貯留・浸透施設の取組を働きかけた
- ・ 水質汚濁防止法に基づき公共水域の水質調査等を継続実施
健康項目：概ね環境基準を達成
生活環境項目：河川は環境基準を達成、湖沼は非達成

Do 【令和5年度実績】（管理番号19）

土砂撤去の事例



羽束川（三田市）

武庫川（西宮市）

Check

「兵庫県河川維持管理計画」に基づき、定期的な点検により河川の状態を把握し、効果的・効率的な維持管理を実施

実施目標

- ・適切な役割分担のもと、「参画と協働」による武庫川づくりに取り組む（管理番号20）
- ・治水・利水・環境の観点から河川の総合的な管理を行う（管理番号21）

Plan 【第3期計画】（管理番号20）

- ・参画と協働の推進
- ・連携・交流の支援等の継続実施

Do 【令和5年度実績】（管理番号20）

地域づくり活動情報システム「コラボネット」の運用



Plan 【第3期計画】（管理番号21）

- ・定期的な観測によるデータの把握
- ・事業実施前後のモニタリング
- ・流量観測データの蓄積

Do 【令和5年度実績】（管理番号21）

流量観測の実施を継続



低水流量観測



高水流量観測（浮子投下）

Check 地域住民との連携を支援・促進するため、さまざまな取り組みを適宜・適切に実施

Check 雨量や河川水位等のモニタリング調査を継続的に実施
流量観測を継続的に実施